

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月5日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社
 コード番号 5999 URL <https://www.ihara-sc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営統轄室長
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 長岡 敏
 (氏名) 中川路 豊
 TEL 03-6721-6988

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	9,385	38.2	2,074	110.5	2,171	110.0	1,543	63.7
2021年3月期第2四半期	6,792	△7.5	985	△14.9	1,033	△10.1	942	16.7

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,586百万円 (62.8%) 2021年3月期第2四半期 974百万円 (23.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	144.93	143.94
2021年3月期第2四半期	89.28	88.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	25,516	20,424	79.5	1,885.14
2021年3月期	24,092	19,310	79.7	1,817.92

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 20,286百万円 2021年3月期 19,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	47.00	47.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	28.3	3,700	41.3	3,750	36.8	2,650	23.5	248.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載の通りです。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	14,000,000 株	2021年3月期	14,000,000 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2022年3月期2Q	3,238,604 株	2021年3月期	3,438,604 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	10,649,921 株	2021年3月期2Q	10,559,067 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

記載している予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業績の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、記載している予想に関する事項は3ページを参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により先行き不透明な状況が続きましたが、ワクチン接種の進展により製造業を中心にして業績が回復しつつあります。

このような経済環境のもと、当社グループは配管を科学し、「お客様の望む時に、望むモノを、望む形と望むコストで」をお届けすることに全力を注ぎ、「最適配管システムで世界のお客様に感動を」を合言葉に「感動創造企業」の実現に向けてグループ一丸となって取り組んでまいりました。

販売面では、半導体需要の高まりによる半導体関連メーカーの設備投資の拡大によって、当社グループ製品の受注・売上も増加しました。建設機械市場及び工作機械市場に向けた販売についても、海外を中心に需要の回復が見られ受注・売上が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は93億85百万円（前年同期比38.2%増）となり、営業利益は20億74百万円（前年同期比110.5%増）、経常利益は21億71百万円（前年同期比110.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億43百万円（前年同期比63.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下の2事業部を報告セグメントとしております。

(C P 事業部)

半導体及び液晶製造装置市場向け、食品・医療市場向けに、クリーンな環境に対応した継手、バルブ、配管ユニット製品等を販売・生産していますが、半導体業界における設備投資の拡大により、売上高は56億1百万円（前年同期比40.5%増）となり、セグメント利益は19億90百万円（同68.7%増）となりました。

(G P 事業部)

建設機械、工作機械、車両、船舶、化学プラント等の一般産業市場向けの継手、バルブ、配管システム等を販売・生産していますが、建設機械市場、工作機械市場における需要の回復によって、売上高は37億63百万円（前年同期比30.5%増）となり、セグメント利益は9億3百万円（同57.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億23百万円増加し、255億16百万円となりました。これは、売上債権が7億90百万円、たな卸資産が6億52百万円増加したことなどによるものです。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億9百万円増加し、50億91百万円となりました。これは、未払法人税が3億21百万円増加したことなどによるものです。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ11億13百万円増加し、204億24百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益15億43百万円と配当金支払い4億96百万円により利益剰余金が8億91百万円増加したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末79.7%から当第2四半期連結会計期間末79.5%となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末1,817円92銭から当第2四半期連結会計期間末1,885円14銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローで5億80百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローで1億80百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローで6億96百万円のマイナスとなりました。この結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末より3億10百万円減少し68億40百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は5億80百万円（前年同四半期は15億49百万円）でありました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上21億71百万円、売上債権の増加による7億90百万円の減少、たな卸資産の増加による6億52百万円の減少などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は1億80百万円（前年同四半期は89百万円の支出）となりました。この主な要因は、投資有価証券の取得による支出1億13百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は6億96百万円(前年同四半期は9億6百万円の支出)でありました。この主な要因は、長期借入金の返済による2億18百万円、配当金の支払いによる4億78百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期当期純利益は、半導体製造装置関連市場における需要の拡大に伴い、弊社製品の受注量も拡大しており、年初予想を上回りました。通期の連結業績予想につきましても、当初予想を上回る見込みであるため、2021年5月12日に公表しました予想数値を修正いたしました。

詳細については、本日2021年11月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,230	6,925
受取手形及び売掛金	3,576	4,222
電子記録債権	775	920
商品及び製品	564	641
仕掛品	1,354	1,658
原材料及び貯蔵品	1,544	1,816
その他	323	412
流動資産合計	15,371	16,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,102	3,033
機械装置及び運搬具（純額）	1,074	992
土地	2,386	2,386
建設仮勘定	66	106
その他（純額）	63	63
有形固定資産合計	6,693	6,582
無形固定資産	440	439
投資その他の資産		
投資有価証券	1,074	1,295
長期貸付金	8	8
繰延税金資産	298	423
その他	205	169
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,586	1,896
固定資産合計	8,721	8,919
資産合計	24,092	25,516

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	977	976
短期借入金	637	637
未払金	257	288
未払法人税等	482	803
賞与引当金	—	361
役員賞与引当金	10	—
その他	340	180
流動負債合計	2,705	3,247
固定負債		
長期借入金	340	122
退職給付に係る負債	1,223	1,209
長期末払金	278	278
資産除去債務	71	71
長期預り保証金	161	162
固定負債合計	2,076	1,844
負債合計	4,781	5,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	620	618
利益剰余金	19,473	20,364
自己株式	△2,723	△2,565
株主資本合計	18,934	19,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	231	273
為替換算調整勘定	34	31
その他の包括利益累計額合計	265	305
新株予約権	91	115
非支配株主持分	18	22
純資産合計	19,310	20,424
負債純資産合計	24,092	25,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	6,792	9,385
売上原価	4,917	6,320
売上総利益	1,875	3,065
販売費及び一般管理費	889	991
営業利益	985	2,074
営業外収益		
受取利息及び配当金	22	19
為替差益	—	42
持分法による投資利益	63	34
その他	7	18
営業外収益合計	93	113
営業外費用		
支払利息	5	3
為替差損	33	—
その他	5	13
営業外費用合計	44	17
経常利益	1,033	2,171
特別利益		
補助金収入	302	—
特別利益合計	302	—
税金等調整前四半期純利益	1,336	2,171
法人税、住民税及び事業税	422	769
法人税等調整額	△29	△144
法人税等合計	392	624
四半期純利益	943	1,546
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	942	1,543

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	943	1,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	42
為替換算調整勘定	△13	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△17
その他の包括利益合計	31	40
四半期包括利益	974	1,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	974	1,583
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,336	2,171
減価償却費	233	220
持分法による投資損益 (△は益)	△63	△34
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1	△14
長期未払金の増減額 (△は減少)	△3	—
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12	△10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	317	361
株式報酬費用	22	23
補助金収入	△302	—
受取利息及び受取配当金	△22	△19
支払利息	5	3
為替差損益 (△は益)	20	△5
売上債権の増減額 (△は増加)	314	△790
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△139	△652
仕入債務の増減額 (△は減少)	△302	△0
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4	△161
未払金の増減額 (△は減少)	△16	4
その他	152	△68
小計	1,546	1,027
利息及び配当金の受取額	22	19
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△316	△462
補助金の受取額	302	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,549	580
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△99	△79
無形固定資産の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の取得による支出	△4	△113
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	17	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△423	△218
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△482	△478
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△906	△696
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	△14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	529	△310
現金及び現金同等物の期首残高	5,678	7,151
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,207	6,840

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、子会社の海外取引について、認識時点を一部変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。なお、収益認識会計基準等の適用による四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって運用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	CP事業部	GP事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,871	2,856	6,728	63	6,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	114	27	142	—	142
計	3,986	2,884	6,870	63	6,934
セグメント利益	1,179	575	1,754	32	1,787

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,754
「その他」の区分の利益	32
セグメント間取引消去	△3
全社費用(注)	△798
四半期連結損益計算書の営業利益	985

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	CP事業部	GP事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,588	3,726	9,314	70	9,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	36	50	—	50
計	5,601	3,763	9,365	70	9,435
セグメント利益	1,990	903	2,893	34	2,928

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,893
「その他」の区分の利益	34
セグメント間取引消去	△18
全社費用(注)	△835
四半期連結損益計算書の営業利益	2,074

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。